

令和8年度 富士市 授業づくりの重点

富士市教育委員会学校教育課

ふじの教育
基本方針

「一緒に学ぶ 一生学ぶ」

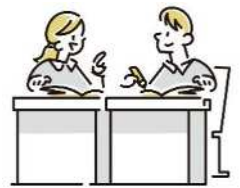
目指す子ども像

学びを創る子 未来を拓く子

資質・能力の育成

「個別最適な学びと協働的な学び」の一体的な充実

主体的・対話的で深い学び



見取りを生かし、
仕掛ける

目指す授業像

みんなが学びの主人公

学びの実感を
次へつなぐ

子どもと教材をつむぐ
単元を構想する



社会の変化がより複雑で予測困難となってきた中、これから目指すべき社会とは、人間を中心とした、一人一人が他者との関わりの中で幸せや豊かさを追求できる社会とされています。

学校は、子ども一人一人の個性や多様性を尊重し、その子の「好き」を育み、「得意」を伸ばしながら確実に資質・能力が身に付くよう、授業においては、ICTを学習の質を高めるものとして活用し、「個別最適な学びと協働的な学び」の一体的な充実に向けた取組を進めていくことが大切です。

みんなが学びの主人公となる授業を目指して

「みんなが学びの主人公となる授業」とは、「一人一人が課題に魅力を感じ、自分らしさを発揮しながら、課題解決に向かう中で、資質・能力が育まれる授業」です。

どの子ども安心して、それぞれの感性を働かせながら主体的に学び、生涯にわたって学び続ける力を育てていくためには、教師の温かで肯定的なまなざしによる関わりを土台とした、授業や学習環境をデザインすることが大切です。そして、子ども一人一人に必要な伴走支援が欠かせません。

昨年度の学校訪問から見えたことをもとに、教師が大切にしたいことを三つの柱に整理しました。

子どもと教材をつむぐ単元を構想する

単元を構想することは、子どもの思いや願いと教材の価値を教師の関わりや支援でつむいでいくことです。子どもが夢中になって思いや願いを実現しようと学びを楽しむ中で、目標を達成し、資質・能力を育むことにつながるような単元を構想することが大切です。

- 学習指導要領解説を読み、育成すべき資質・能力が身に付いた子どもの姿をイメージしましょう。
- 子どもが教科等の見方・考え方を働かせて思考する姿をイメージして、教材研究を行いましょう。
- 「なぜだろう」「やってみたい」と思う課題を設定し、どの子どもも「できそう」と解決の手がかりや見通しをもてるような展開や手立てを考えましょう。
- 子どもが「学び方」を自己決定できるような場（教材・教具・学習形態・活動時間・ICT活用等）を工夫しましょう。

見取りを生かし、仕掛ける

子どもの素直な表れは、安心できる学級と学習環境のもとで生まれます。そのような表れを教師が温かく受け止め、丁寧に見取ろうとする姿勢が大切です。単元を通して身に付けたい資質・能力を念頭におき、子どもの多様な表れから、個々の思考の様子や変化を感じて、柔軟に授業を展開し、単元や本時の目標に迫るよう仕掛けます。

- 子どもたちが授業中に見せる表情やしぐさ、つぶやきなどに込められた意味や思いを丁寧に見取り、子どもの現在地を捉え続けましょう。
- 多様な考えを生かし学びを深めるために、ICT活用や個別支援、学習形態の工夫、板書の構造化などを意図的に取り入れましょう。
- 子どもの考えや思いを引き出すために、子どもの表れをもとに、情報を提供する、ずれを生かす、問い返す、待つ、視点を示すなど具体的に仕掛けましょう。

学びの実感を次へつなぐ

子どもが、学習内容や活動を自分ごととして捉えることで学びの実感を得ることができます。学びの過程で子どもが「できそう」「分かってきた」「納得した」「新しい問いが生まれた」など自己の変容を自覚し、「次もやってみたい」という思いを引き出すことが大切です。

- 子どもが自らの学習を調整し、粘り強く取り組んでいるかを見届けましょう。
- 課題解決に向けて試行錯誤している姿、目標や課題に向けて工夫して取り組んでいる姿を積極的に認め、次につながる前向きな声掛けや関わりをしていきましょう。
- 学習過程で生まれた疑問や気づき、活用できる知識・技能や新たな考え方、学習を深めることで得た更なる意欲などを振り返ることで、自分に身に付いた力を子ども自身で確かめることができるようにしましょう。

令和8年度 富士市学校づくり指針

富士市教育委員会 学校教育課

◆確かな教育基盤(方針1)の上に成り立つ 学校教育(方針2)

方針2-2 確かな学力の向上

- 自分ごととして課題に向き合う子どもが育つ。
- 自分らしさを発揮しながら、学びに向かう子どもが育つ。
- 課題解決の過程で資質・能力が身に付く。
- ★ 授業づくりの重点を核とした授業改善
- ★ 深い学びに向けたGIGAタブレットの活用 (ICT支援員との連携)
- ★ 読書活動の充実
- ★ 学校図書館の情報・学習・読書センターとしての機能の充実 (学校司書との連携)

方針2-3 健やかな体づくり

- 心と体を大切にできる子どもが育つ。
- 生涯にわたってスポーツを楽しむ。
- ★ 自他の生命を守るための組織的、計画的な指導
- ★ 生活習慣の向上
- ★ タイムマネジメントによる生活づくり
- ★ 豊かなスポーツライフに向けた外部人材の活用

方針2-1 豊かな心の育成

- 自己肯定感や自己有用感が高まる。
- 人権感覚が豊かな子どもが育つ。
- ★ 安心して失敗できる環境づくり
- ★ 発達支持的生徒指導の丁寧な積み上げ
- ★ 豊かな体験や人と関わる経験の充実
- ★ 考え議論する道徳科の充実と、道徳的実践力の育成

学びを楽しみ 輝く子ども

方針2-4 頼もしい教職員の育成

- 学び続ける教員
- よりよい教育活動のための働き方改革
- ★ 組織力の向上
- ★ 学びの機会の充実
- ★ 同僚性の高い仲間づくり
- ★ 子どもと向き合う時間の確保 (地域やSSSとの連携)

方針1

方針1 明日を拓く人材を育成する
教育基盤の推進

方針1-1 新たな時代に対応する取組の推進

- 小中一貫教育が定着している学校
- ICT活用によって学びの質が向上する学校
- 地域と協働した教育活動が充実した学校
- ★ 園・小・中交流による「子ども観」の醸成
- ★ 情報活用能力の向上
- ★ 情報モラル教育の計画的な実施
- ★ 学校運営協議会の熟議の推進
- ★ コミュニティ・スクールに係る情報の共有化による成果の実感 (CSDとの連携)
- ★ 部活動地域移行の推進

方針1-2 誰一人取り残さない社会を目指した教育の充実

- 一人一人に寄り添い、多様性を認め合う学校
- 安心できる居場所のある学校
- SDGsの理念が浸透している学校
- ★ UDLとインクルーシブ教育の推進
- ★ 特別支援教育の充実を図る (合理的配慮)
- ★ 子どもの居場所づくり (ほっとルーム等)
- ★ 長期の計画的支援 (巡回学習相談員との連携)
- ★ 多様な機関や人との積極的な連携 (サポート員、SC、SSW、外国人児童生徒支援員、こども家庭課、厚相等)

方針1-3 安全・安心して充実した教育環境の提供

- 命を大切にしている学校
- 安全を第一にした教育活動が行われる学校
- ★ 自他の命を大切にしている指導の日常化
- ★ 学校いじめ防止基本方針の周知徹底
- ★ アンテナが高く、想像力を働かせた危機管理意識の向上
- ★ 子どもの危機管理能力を育む安全教育の充実
- ★ 地域と連携した安全教育の推進